

文化財保護法制定 60 周年記念

特別展「仏教伝来の道 平山郁夫と文化財保護」

2011 年 1 月 18 日(火)～3 月 6 日(日) 東京国立博物館 平成館 [上野公園]

開館時間＝午前 9 時 30 分～午後 5 時 入館は閉館の 30 分前まで 休館日＝月曜日

観覧料金＝一般 1500 円 (1300 円 / 1200 円)、大学生 1200 円 (1000 円 / 900 円)、高校生 900 円 (700 円 / 600 円)

中学生以下無料

\* ( ) 内は前売り / 20 名以上の団体料金

\* 障害者とその介護者一名は無料です。入館の際に障害者手帳などをご提示ください。

主催＝東京国立博物館、NHK、NHK プロモーション、朝日新聞社

後援＝外務省、文化庁

特別協力＝平山郁夫シルクロード美術館、法相宗大本山薬師寺

協賛＝大日本印刷

協力＝文化遺産国際協力コンソーシアム、東京美術倶楽部、朝日生命保険、あいおいニッセイ同和損害保険

展覧会サイト＝ <http://www.asahi.com/hirayama/>

<http://www.nhk.or.jp/event/hirayama/>

## 博物館でのルール

- さわらない●はしらない
- さわがない●メモはえんぴつで

制作／東京国立博物館・NHK デザイン／サイン イラスト／多田文彦 テキスト／大塚巧藝新社

奈良・薬師寺玄奘三蔵院「大唐西域壁画」2000 年 平山郁夫筆

ぶん か ざい ほ ご ほうせいてい しゅうねん き ねん  
文化財保護法制定 60 周年記念

# 仏教伝来の道 平山郁夫と文化財保護

このジュニアガイドでは  
展覧会のみどころを  
ご紹介します。  
どんな発見が  
あるかな？

このジュニアガイドは、  
特別展「仏教伝来の道 平山郁夫と文化財保護」の  
鑑賞の手引きとして、小学校高学年から高校生までを  
対象に作成しました。

ジュニアガイド



2011 年 1 月 18 日(火)  
～ 3 月 6 日(日)

東京国立博物館 平成館



平山郁夫さんは、  
大石仏が破壊されるのを  
避けるため、  
たいへんな努力を  
されたのですか…。

「バーミヤン大石仏を憐れ」



破壊された後

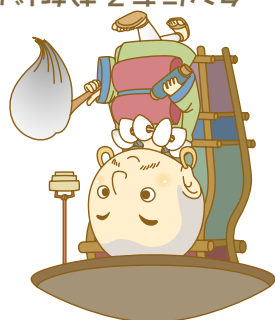


破壊される前

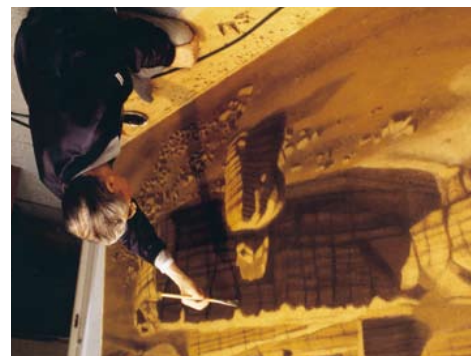
2001 年 3 月、アフガニスタンで続いていた内戦によって、  
無残にも大石仏は破壊されてしまいました。そこで平山郁夫  
さんは、人類が再びおなじ過ちをくり返さないよう、平和へ  
の祈りをこめて破壊される前と後の姿を描きました。この展  
覧会には、文化財保護への平山さんの想いが込められてい  
るよ。文化財保護の大切さ、みんなも考えてみてね。

とても大切な文化財でした。  
1300 年ほど前に、岩山をけずって作られた大きな仏像で、  
タシにあるおなじ「バーミヤン大石仏を描いたものです。  
この 2 つの絵はどちらもアフガニス

2 つの絵を見て  
何を思いますか？



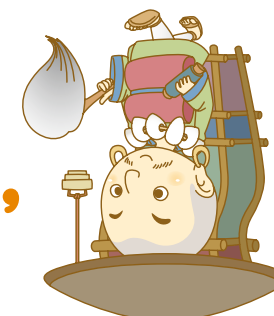
文化財の保護について考えてみよう  
“バーミヤン大石仏”  
壊れてしまった  
文化財の保護について考えてみよう



てくれました。  
その数年後、平山さんは玄奘三蔵の旅したあとをたどって、シルク  
ロードへと実際に行き、そこで数多くの作品を生み出しました。平山  
さんの 140 回を超えるシルクロード訪問の集大成ともいえる作品が  
奈良・薬師寺玄奘三蔵院「大唐西域壁画」なのです。中国・長安か  
ライン・ナラン・ナラン寺院へいたる場面が、大きな画面に描かれてい  
ます。展示室でその壮大な画面を見てください。

20 歳代後半の平山郁夫さんは、原爆の後遺症による死の恐怖と、  
思うような作品がかけないことへの焦りと常に戦っていました。そん  
なとき出会ったのが、いまからおおよそ 1300 年前の中国・唐の時代  
に、生命の危険もかえりみず、インドから貴重なお経を持ち帰った  
玄奘三蔵（三蔵法師）です。自分の信念をつらぬく玄奘三蔵の姿は、  
平山さんに生きる希望と「仏教伝来」という新たな絵のテーマを与え

平山郁夫さんで、どんな人？  
“シルクロードの旅人”玄奘三蔵と  
画家、平山郁夫の出会い





# シルクロード＝仏教伝来の道

砂漠を行き交うラクダのキャラバン、大草原に住む遊牧の民、大海原を行く商船、彼らが命をかけて旅した道、それがシルクロードです。西はローマ、東は中国・西安を経て日本の奈良まで続くシルクロードは、絹や陶器、ガラスなどさまざまな交易品だけでなく、人々の交流によって宗教や風俗といった文化も各地へ伝えました。仏教もまたインドからシルクロードを経てはるか東、日本にまで伝えられたのです。



## 《壁画断片》

岩山をけずって作った洞くつの壁には、鮮やかな色で仏の世界が描かれていました。

【2章】アフガニスタン・バーミヤン石窟

## 草原の道

## 《地藏菩薩立像幡》

絹でできた幡に描かれたお地藏さん。色鮮やかで、とても1200年前に作られたようには見えません。

【4章】中国・敦煌莫高窟

## 砂漠の道

## 《菩薩像頭部》

顔のほりが浅くなり、ちょっぴりアジア風。

【3章】中国・クムトラ石窟

## 《仏頭》

耳たぶが大きな福耳の仏さまで。ニッコリ微笑んでやさしそうですね。

【5章】中国・雲崗石窟

## 《仏伝図「初転法輪」》

お釈迦さま、初めての説法。いったい何を話しているのかな？

【1章】パキスタン・ガンダーラ

## 《仏陀坐像》

目鼻立ちがくっきり男前。パーマをかけたような髪型もおしゃれですね。

【1章】パキスタン・ガンダーラ

## 《菩薩像頭部》

豪華な飾りのついたターバンをしています。モデルは貴族？それとも王様？

【1章】インド・マトゥラー

## 《十一面観音龕》

頭の上にたくさんの顔、いったいいくつあるかな。

【5章】中国・西安市

## 《ナーガ上の仏陀坐像》

食べられちゃう!? いえいえ、ナーガ(蛇)は、仏陀を風雨から護っているんです。

【6章】カンボジア・シェムリアップ

## 海の道

平山郁夫さんは取材に行くたびに数多くのスケッチを残し、多くの作品を生み出しました。

## 《観音菩薩立像》

たくさんのお手をもつ観音さまの像。元々はどんなしぐさをしていたのかな？

【6章】カンボジア・シェムリアップ

ぼくは玄奘三蔵。ぼくが案内するよ。  
シルクロードを通して伝わったさまざまな仏像の特徴を比べてみよう。